TOSHIBA
Leading Innovation

東芝リモコン送信器取扱説明書

保管用

形名　リモコン送信器　FRC−181T

お客様へ

●このたびは東芝照明器具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
●この商品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
●本書は必ず保管してください。

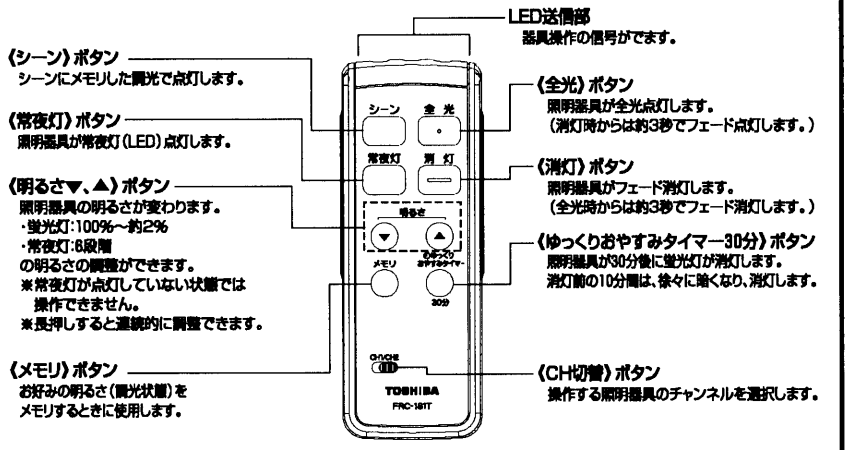
■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠注意		
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	湿度	●このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	改造	●リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。
	高温禁止	●温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上、付近等では使用しないでください。火災の原因となります。

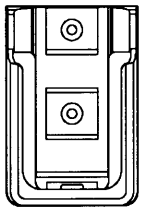
■各部の名前

※このリモコン送信器は「東芝蛍光灯器具（DigiLx:デジルクス）」専用です。他の機器にはご使用できません。「東芝蛍光灯器具（DigiLx:デジルクス）」以外の当社リモコン対応商品の場合、使えない機能があります。

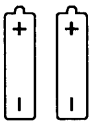


※リモコン本体の前面には保護シート（透明）が貼ってあります。

■リモコン送信器付属品



リモコンホルダー（1個）



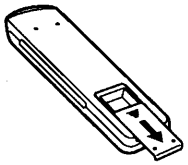
単4乾電池（2本）

取付用木ねじ（2本）

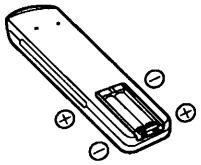
※付属の乾電池は動作確認用です。

■リモコン送信機器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+−をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



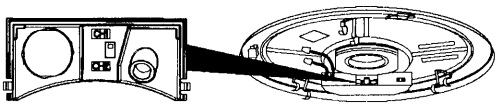
ご注意

●乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
●長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。
●リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

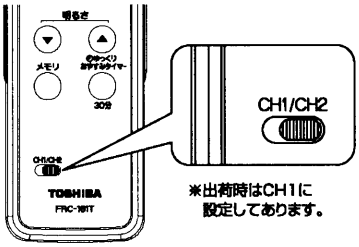
■照明器具とリモコン送信機器のチャンネルの合わせ方

①照明器具のセードを外します。
チャンネルを確認します。
お好みのチャンネルに設定してください。

照明器具のチャンネル部



②リモコン送信器のチャンネルを照明器具と合わせます。



※出荷時はCH1に設定してあります。

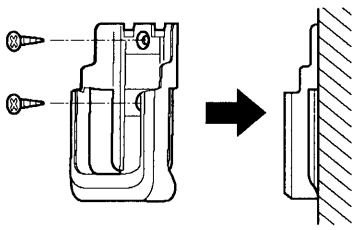
※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
チャンネルが合っていないと操作できません。

※2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器で行えます。
それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と個別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。

■リモコンホルダーのご使用方法

●リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご使用ください。

付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。

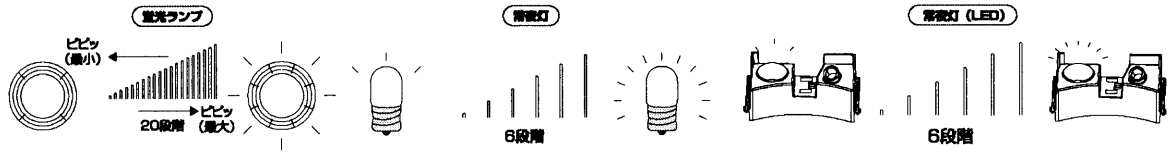


ご注意

●リモコンを操作する際は、リモコンホルダーからリモコン送信器をはずして照明器具に向けてご使用ください。

■明るさの調整について

リモコン送信器の《明るさ▼▲》ボタンで通常ランプおよび常夜灯の明るさを変えることができます。



※消灯から《明るさ▲》ボタンを押した場合、内側のランプのみ点灯します。明るさを上げていくと2本のランプが点灯します。明るさが最大の場合はピピッと鳴ります。
※《明るさ▼》ボタンを押して明るさを下げていくと2本のランプ点灯から内側のランプのみの点灯となります。明るさが最小の場合はピピッと鳴ります。

■おこのみの明るさをシーンボタンにメモリする（調光状態にする）

シーンにメモリする

よく使う明るさ（調光）をメモリすることができます。

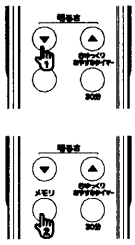
1、《明るさ▼▲》ボタンでおこのみの明るさに調光します。

2、《メモリ》ボタンを押します。

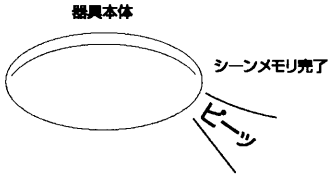
ピーッとなって器具本体にメモリされます。

※全光、常夜灯、消灯などの状態から《シーン》ボタンを押すとメモリした明るさで点灯します。

操作ボタン



※工場出荷時は、シーン約10%に設定してあります。



※シーンにメモリした明るさを変更する場合は再度1～2の手順を繰り返してください。（上書きされます）

■ゆっくりおやすみタイマーのご使用方法

ゆっくりおやすみタイマー

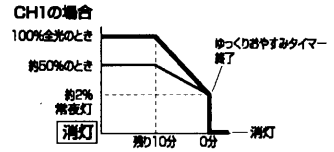
●ワンボタン操作で30分後、に蛍光灯の自動消灯ができます。
また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。
「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。

●チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

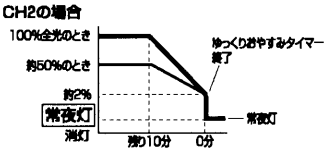
・CH1の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後
「消灯」します。

・CH2の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後
「常夜灯」が点灯します。

CH1の場合



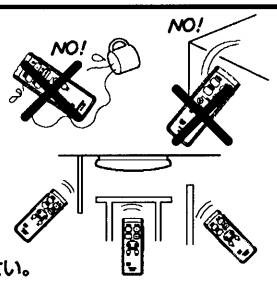
CH2の場合



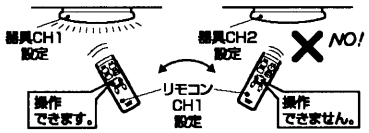
ポイント 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

※「全光」「シーン」「常夜灯」「消灯」のいずれかを操作すると解除されます。
※約2%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
※常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後に消灯します。（明るさはゆっくり減少しません。）

■リモコン使用上のご注意



●リモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどにはご使用できません。
●リモコン送信器は、照明器具の壁スイッチがONのときのみ切替えできます。
●リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
●リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
●天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗していると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
●照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用するとリモコンが正常に作動しないときがあります。
●点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。2台の照明器具を1つのリモコン送信器で操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを合わせて操作してください。
●冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信器での連続調光「明るさ▼▲」ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。その場合は、「明るさ▼▲」ボタンを長押しせず、1回ずつ押しながら調光してください。
●電源の停電などで明るさが切替わったり、切替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。
●リモコン送信器の「消灯」ボタンを押すと、照明器具が約3秒でフェード消灯します。フェード消灯機能が働いている途中（約3秒間）に、再度「消灯」ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。この場合は、リモコン送信器の「全光」ボタンもしくは「常夜灯」ボタンを押してから、再度「消灯」ボタンを押してください。



■故障かな?と思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光ランプが切れている。	蛍光ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
ゆっくりおやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。	CH2でゆっくりおやすみタイマーが操作されている。	リモコンと本体のチャンネルをCH1に切り替えて操作してください。

■お客様メモ

購入年月日　　年　　月　　日

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日　9：00～20：00
携帯電話・PHSなど　048-862-2772（通話料：有料）
FAX　0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 照明器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1
電話(046)862-2103
FAX(046)861-8776

リモコン送信器 (0032151) A 4